

# 今年度の主な活動

コロナ禍の一年・デルタ株、オミクロン株とコロナウイルス変異種のまん延で『緊急事態宣言』や『まん延防止等重点措置』で多くの人が集まる行事の開催が困難な一年でした。子供たちを対象にした「キラキラキッチンやまだっ子」、高齢者を対象にした「ひとり暮らし高齢者日帰りバスツアー」や「高齢者ふれあいサロン」等軒並み開催を断念せざるを得ませんでした。

厳しい環境の中、ボランティアグループのV・メロンの皆様のご尽力で「やまだカフェ」の開催や「支え合い送迎事業」の再開が出来ました。

## 五月

### 収集ボランティア

アの取組を始めました。ペットボトルのキャップ・ビールやジュース缶のプルトップ及び使用済み切手の回収ボックスをまちづくりセンター内に設置させていただいて

- キャップ： 60kg
  - プルトップ： 15kg
  - 切手 1800枚
- を収集できました。



ご協力ありがとうございました。

## 六月

### 移動フードドライブを実施しました



十一月に二回目の移動フードドライブを実施しました。

通算して延べ14名の方から

- 玄米 60kg
- 白米 10kg
- 食品 27品

(パスタ、缶詰、そうめんなど)



## 十二月

### 歳末助け合い募金に取り組みました。

コーナン様のご厚意で、東側入口で募金活動を行いました。約一時間余りの訴えでしたが、七、二〇一円のご協力をいただきました。

友愛訪問を実施しました。学区内のお一人暮らしの高齢者300名を各町内会の福祉委員さんのご協力を頂き年末の多忙な中訪問活動をしていただきました。

### 編集後記

滋賀県は「コロナ対策重点措置」を発表しました。この中で「コロナから家族を守るために気を付けていただきたい4つのポイント」を掲げています。①家庭に持ち込まない ②家庭内で拡げない ③車の中でも感染対策を ④基本的な感染対策も十分に

子供や高齢者、私たち自身の身を守るため今一度日常生活を見つめ直したいと思えます。

「社協だより」や「社協ホームページ」作りを手伝っていただけの方(未経験者可)。下記のQRコードより連絡ください。



# 山田学区 社協だより

## やまだカフェへ

### おいでやす

昨年十一月二十日、長年の願望であった地域の誰もが集い・ふれあう場「やまだカフェ」がオープンしました。「やまだカフェ」は前号の社協だよりで紹介しましたボランティア団体の「V・メロン」の皆さんで運営されています。

開催当日の朝、V・メロンの皆さんは 特別養護老人ホームえんゆうの郷様の「高配でお借りしてきた地域交流

サロン室「落雁」に集まり午後のオープンに向けて準備に余念がありません。

美味しいコーヒーを楽しんで貰おうとプロの指導を受け、練習を積み重ねてきた腕前を発揮する時が来ました。午後一時、来場者が続々と詰め



### 第79号 山田学区 社会福祉協議会

を来賓に迎えV・メロン代表・田淵穂子さんの挨拶で開店です。来場者はハーモニカの生演奏を聞きながら和やかに談笑されていました。この日は穏やかに晴れた日です。

ラズでひと時を過ごすグループもおられました。草津市役所や草津市社会福祉協議会、他学区からも多くの方々がお祝いに駆けつけてくださいました。

毎月第三土曜日  
13時~15時  
えんゆうの郷 2号館  
開催予定



## 代表の田淵穂子さん たいまごわっ

長年温めて参りましたふれあいカフェ(名付けて「やまだカフェ」)を、「コロナ禍の中、ボランティアグループ「メロン」(V・メロン)で始めることとなりました。

学区の皆様・えんゆうの郷様の多大なる御支援・御協力のもと上記に掲げさせて頂いております。まず日程で開催致しております。学区内外、老若男女問わず、誰もが気軽に立ち寄りゆつくり、ほっこりできるカフェです。

月一回ではありますが、御友人、お知り合いの方々との絆を深めて頂き、次のカフェの開催を心待ちにして頂ければと願っています。今、又、コロナの感染拡大でオープンできませんが、スタッフ一同、皆様とお出合いを楽しみにして励んでおります。是非お立ち寄り下さい。

【開催中止時は、まちづくり協議会の有識者のハンドベル演奏があります。クリスマスソングで会場は一早いクリスマスモードに溢れかえっています。】



高齢者がいきいきと暮らすための活動の場として「地域サロン」が各地で推進されています。山田学区に「地域サロン」が18団体あり、それが地域に根差した活動をしています。

この度、山田学区医療福祉を考える会議では令和3年11月30日に「えんゆうの郷交流サロン」「落雁」をお借りして、サロン交流会を開催いたしました。参加していただいたのは、サロンの代表者、事業所、松原地域包括センター、地域保健課、市社協等の合計50名が集まりました。

サロン交流会の概要を報告いたします。

交流会は、司会者挨拶、会長挨拶、参加者の自己紹介、地域保健課と市社協の報告があり、続いてサロンの代表者として「なごみ会(出屋敷団地)」と「みつつけサロン(三ツ池)」の活動報告があり、6班に別れて「グループワーク」の熱心な討論をいたしました。テーマは

- 1 地域サロンの良さ
  - 2 現在の困りごと
  - 3 コロナ禍での工夫
  - 4 事業所と一緒にやりたいこと
  - 5 これからやってみたいこと
- の5点について討論後、各グループ代表のまとめ発表をして頂きました。



## 第21回 地域サロン 交流会

山田学区医療福祉を考える会議

- 各グループ代表者の発表内容を簡略に記載させていただきます。
- 1 「地域サロンの良さ」について
    - ◆悩みを打ち明けられる。ストレス発散になる。認知症予防につながった。他の人との交流が図れる。閉じこもりの予防。情報の共有ができる。一人暮らしの方の支えになっている。
  - 2 「困りごと」について
    - ◆世話役後継者がいない。メンバーが増えない。会場へ行くのが困難。会場が2階で上りづらい。サロンの高齢化。百歳体操と聞く若い人が参加しにくい。男性の参加が少ない。

3 「コロナ禍での工夫」について

- ◆中止もやむを得ない。弁当やケーキを配布。草津川堤防で花見をした。参加人数を制限する。DVDを配布して家庭で鑑賞していただく。

4 「事業所と一緒にやりたいこと」について

- ◆どのようなサービスがあるのか、費用はどの程度か。職員さんとの懇談。施設見学がしたい。事業所からゲストで来ていただき一緒に出来る方策を探りたい。施設の風食を試食したい。デイサービスを体験したい。

5 「これからやってみたいこと」について

◆サロン同士の交流会。麻雀大会や将棋会を

実施。参加者を増やすために創意工夫で取り組みたい。簡単にできる催しものを学びたい。

以上多くの意見や提案が発表されました。



高齢者の集いの場である「地域サロン」は地域住民が主体となって運営を行い、だれもが気軽に参加できる交流の場であります。

「地域サロン」に参加することにより、人との交流が多いほど良い。運動は仲間とする方が良い。笑いが多い生活は脳卒中の率が減る。サロン参加者は要介護になる割合が低い。参加率が高い地域は認知症の率が低い。地域で役割を担うことは長生きにつながる。等々のいろいろな効果があると言われています。

今回の交流会で、山田学区「地域サロン」18団体の皆様が地域に根差し熱心に活動をされている一端を垣間見た気がいたしました。

今後の活動において、各サロンが、いろいろな工夫をされて「地域サロン」の継続に力を注いでいただき、真価を発揮されることを願っています。最後に、参加いただいた皆様にお礼と感謝を申し上げます。

## 賛助会員のご紹介

昨秋、今年度の草津市社会福祉協議会賛助会員の募集をさせていただきました。

山田学区では「二六社(名)の皆様からご協力をいただきました。この会費は草津市社会福祉協議会の活動に有効に活用させていただきます。

ここに、山田学区の賛助会員のみなさまをご紹介し、厚くお礼申し上げます。

(敬称略・順不同)

- ・(株)アヤシロ
- ・島根中井工業(株)ナカイテクノ
- ・(有)横江製作所
- ・相撲ちゃんこ 大岳
- ・(株)光真製作所
- ・藤田工務店(株)
- ・福盛教材(有)
- ・浜口商店
- ・オートカム
- ・ワークパートナー きらら北山田
- ・中野製菓製造(株)
- ・園田瓦店
- ・(株)久泉エンジニアリング
- ・(有)馬場自動車
- ・(有)馬場工務店
- ・(株)テクノオーミ
- ・膳所木材工業(株)
- ・山一産業(株)

## 山田学区の園児達の絵はがき

山田学区社協の事業である「高齢者一日バス旅行」をコロナ禍で中止の判断を余儀なくされ、高齢者の皆様から落胆の声を



聞き取りました。コロナ禍においては社会福祉で最も重要な「つながり」が持ちにくい状況が続いていました。

それならばと「あったかはがき交流」を計画し、10月〜11月にかけて山田こども園のじ組21人と、ほし組26人の園児達が山田学区お一人暮らし高齢者に「素敵な絵」を



- ・(有)久保水道
- ・西本電気工事(株)
- ・(有)馬場建設
- ・平井自動車工業(株)
- ・佐山水道工業(株)
- ・岡田茂吉研究所
- ・木川営業組合
- 組合長 古川孝夫
- 特別養護老人ホーム えんゆうの郷



書き、はがきに印刷をし届ける取り組みを実施しました。

子ども達は「おじいちゃん、おばあちゃん」が元気に過ごせますように「また、いっぱい会えるといいなあ」とつぶやきながら心を込めて



温かい86枚の絵を書きあげてくれました。学区内300名の一人暮らし高齢者の皆様の手元に印刷された「可愛いはがき」をお届けすることができました。手にされた方から社協

に思わぬ返信が届き、目に見えない「温かいつながり」の存在を感じました。

## おじいちゃん！おばあちゃん！いつまでもお元気で



\*社協ホームページに園児達全員の素敵な絵が掲載されています。是非ご覧ください。

園児の作品はこちらをご覧ください

